

平成 28 年度 広島県連合小学校長会 活動方針

広島県連合小学校長会は、永年にわたり、学校教育と学校経営に対する真摯な研究と実践を重ねるとともに、教育諸条件の整備に努め、小学校教育のさらなる充実と発展のために鋭意努力を続けてきた。

近年、グローバル化、知識基盤社会化、少子高齢化等が一層進み、先を見通すことが極めて困難な時代を迎えている。こうした中であって、学校教育の責務は、地域社会と一体となり新しい時代を主体的・積極的に切り拓いていく日本人を育てることにある。そのためには、学習指導要領の理念である「生きる力」を育む教育を着実に推進し、充実を図ることが重要である。加えて、子供の健全育成や安全・安心な教育環境づくりなどへも一層積極的に取り組んでいく必要がある。

また、相次ぐ自然災害等の発生により明らかになった学校と地域社会との絆をより強固なものとし、地域とともにある学校づくりを促進していくなど、経営改善を着実に進めていくことが求められている。

我々は、このような現状を深く認識し、「人づくりへの挑戦」を掲げる広島県総合計画「ひろしま未来チャレンジビジョン」、さらに広島版「学びの変革」アクション・プランの趣旨を踏まえ、「広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造」に向け、校長としてより一層リーダーシップを発揮して「新たな知を拓き 人間性豊かな社会を築く日本人の育成を目指す小学校教育」を推進し、もって県民の負託に応える学校づくりに努めなければならない。

以上の考え方に立ち、次に掲げる各項を活動の重点とする。

- 1 学校の自主性・自律性を確立し、創造的な教育活動を着実に実施し、地域社会から信頼される学校経営を行う。
- 2 校長としての倫理規範を磨き、より一層リーダーシップを発揮し、信頼と秩序に基づく機動的で活力ある学校体制の確立と校内組織の強化を行う。
- 3 創意工夫した教育課程の編成、実施、評価、改善を行い、確かな学力の向上を図るとともに、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実に努める。
- 4 子供の自尊感情を高め個性の伸長を図るとともに、生命や人権を尊重する教育の充実に努める。
- 5 キャリア教育、特別支援教育、食育等の総合的な推進・充実に努める。
- 6 明確な人材育成方針・体制のもと、教職員個々の実践的指導力などの向上に努める。
- 7 家庭・地域社会との連携を深め、教育力の総合化・活性化を図ることにより、子供の健全育成や安全・安心な教育環境づくりを行う。
- 8 子供と向き合う時間の確保など、教育諸条件の整備・拡充に努める。
- 9 教職員の職責に相応する適正な処遇が得られるように努める。
- 10 校長としての主体性を確立し、会員相互の連帯感を深め、本会の組織強化を行う。